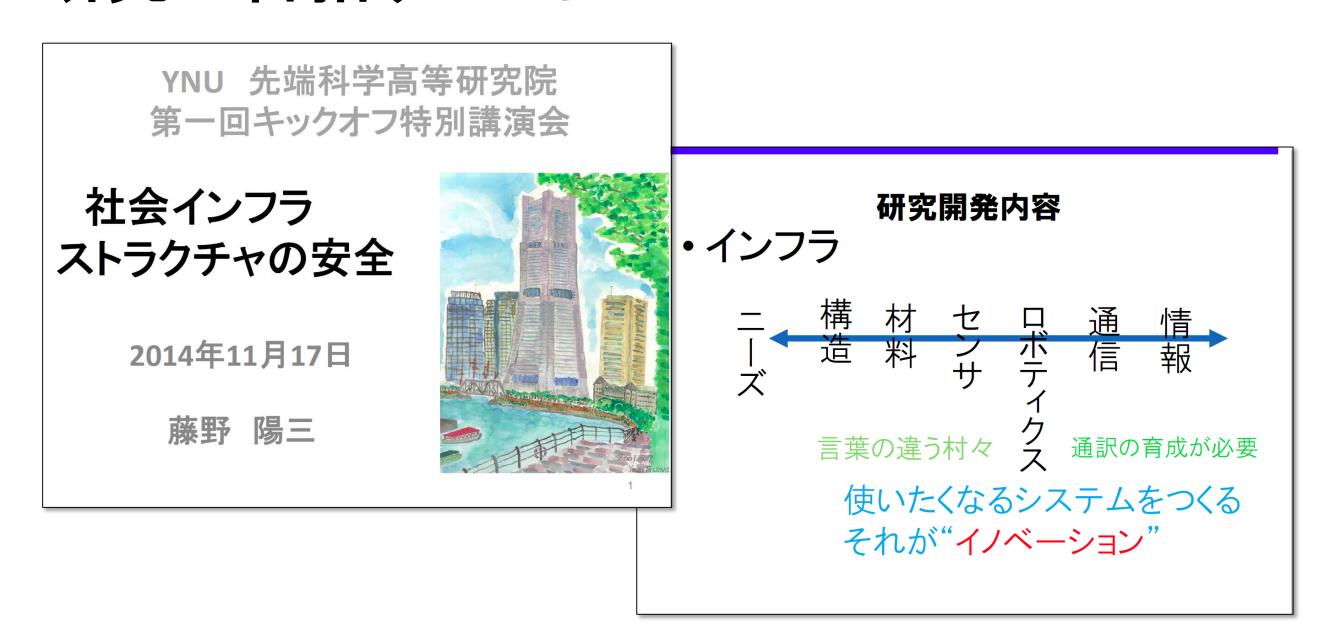
社会インフラストラクチャの安全

Research Unit: Safety and Resilience of Infrastructure and Infrastructure Systems

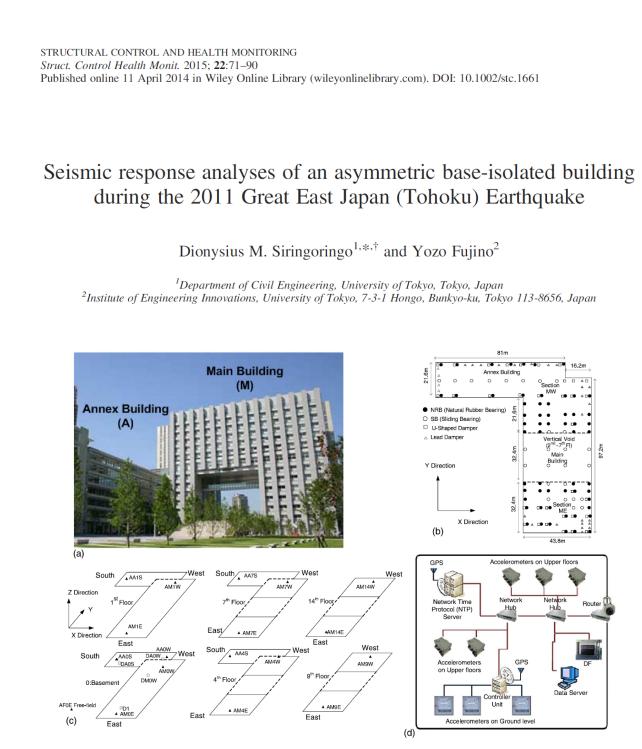
効率的インフラマネジメント技術の構築を目指す研究を実施します。

我が国では膨大なインフラストラクチャが高齢化する時代を迎えています。安全で事故や災害に対して強靭なインフラ構築に向けて、センシング、ロボット技術などの先端技術の活用により、効率的なインフラマネジメント技術を構築し、海外への展開を図ります。

研究の目指すところ



最近の研究から



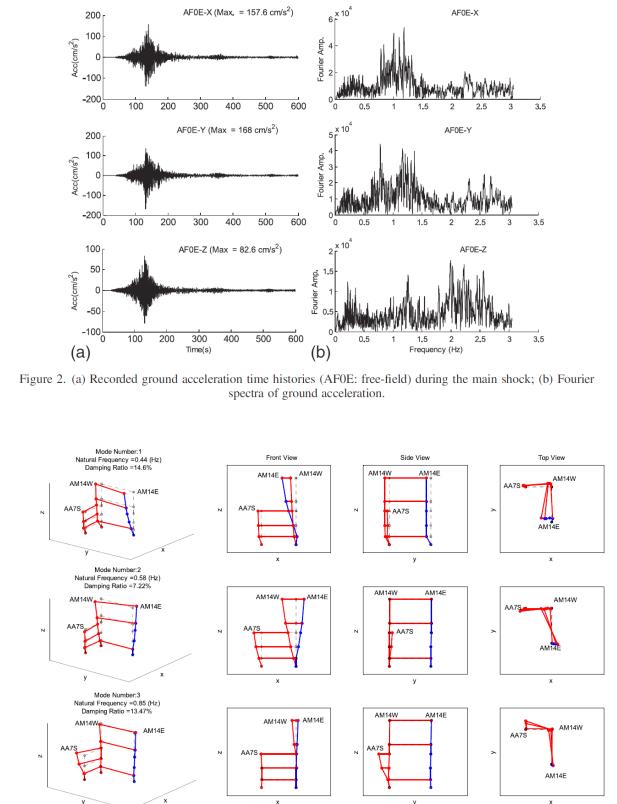


Figure 8. First three modes identified from system identification of the main shock (note: results are obtained from frame 4, and the blue lines are from sensors on the east side of the main building).

研究ユニットのイベント等



ユニット・メンバー

Figure 1. (a) SIT Building, (b) layout of isolation system, (c) sensor locations, and (d) architecture of the monitor

主任研究者 海外主任研究者

共同研究者

曽我 健一上席特別教授 ビリー・スペンサー上席特別教授 Siringoringo Dionysius Manly IAS准教授、 小長井 一男 教授、山田 均 教授、 勝地 弘 教授、西尾 真由子 准教授、 細田 暁 准教授、菊本 統 准教授 孫 利民 IAS連携教授、津野 和宏 IAS客員教授

藤野 陽三 上席特別教授

連携研究者



藤野 陽二

1972年 東京大学工学部卒業。1976年 ウォータール大学土木工学科博士課程修了、同大学博士研究員。1977年 東京大学地震研究所助手。1978年 筑波大学構造工学系助手。1982年 東京大学工学部助教授(土木工学科)。1990年 東京大学工学部教授(土木工学科)。2007年 紫綬褒章受章。2013年 東京大学名誉教授。2014年 横浜国立大学先端科学高等研究院上席特別教授(社会インフラストラクチャの安全研究ユニット)

最近の業績リスト

- Seismic response analyses of an asymmetric base-isolated building during the 2011 Great East Japan (Tohoku) Earthquake (DM Siringoringo, Y Fujino) Structural Control and Health Monitoring 22巻 1号(頁 71-90) 2015/01
- 三次元動的解析を用いた曲線ラーメン高架橋に 特徴的な地震応答の分析(武田智信,長山智則, 水谷司,藤野陽三)地震工学論文集 2015
- 漏えい同軸ケーブルの表面波モードの電界変動による高精度な降雨強度の推定に関する実験的研究(水谷司,猪又憲治,辻田亘,藤野陽三,長山智則)電子情報通信学会論文誌 2015

横浜国立大学先端科学高等研究院

Institute of Advanced Sciences, Yokohama National University

